ナンバリング	B⑤03	科目名	社会的養護Ⅰ	担当教員	砥　上　正　樹
ディプロマポリシーとの関連性	②・④	担当形態	単独		

テキスト	小野澤　昇・大塚良一・田中利則編著「子どもの未来を支える　社会的養護」ミネルヴァ書房	単位数 授業形態	2単位　講義	開講時期	後期

講義概要

■到達目標

・社会的養護の意味を理解し、説明できる。
・社会的養護の歴史を学び、現在に至る経緯を時代背景と共に説明できる。
・社会的養護のしくみについて現状と課題を理解し、これからのあり方について自ら考えることができる。

■授業の概要

社会的養護の理念である「子どもの最善の利益のために、社会全体で子どもをはぐくむ」の意味を理解しながら保育士としての役割を学ぶ。また、演習を通して児童福祉施設で暮らす子どもたちや通所利用している子どもたちの成長にどのように関わっていけばよいのかを考えていく。

■授業計画

第１回　社会的養護とは何か?社会的養護の理念と体系・基本原則
第２回　社会的養護の現状と課題（１）　児童虐待の現状と地域福祉
第３回　社会的養護の現状と課題（２）　子育てをめぐる社会状況と児童家庭福祉
第４回　社会的養護の歴史（１）　古代から明治期まで
第５回　社会的養護の歴史（２）　明治期から現代まで
第６回　こどもの権利養護と自立支援
第７回　社会的養護のしくみと実施体系①　児童相談所
第８回　社会的養護のしくみと実施体系②　乳児院
第９回　社会的養護のしくみと実施体系③　児童養護施設、母子生活支援施設
第10回　社会的養護のしくみと実施体系④　児童自立支援施設、児童心理治療施設
第11回　社会的養護のしくみと実施体系⑤　福祉型障害児入所施設、医療型障害児入所施設
第12回　社会的養護のしくみと実施体系⑥　児童発達支援センター、児童家庭支援センター
第13回　家庭的養護（里親等）と施設養護
第14回　虐待の防止と社会的養護における保育士の倫理と役割
第15回　まとめ

■準備学習

・虐待等の社会問題や子育てに関する報道に関心を持ち、理解しておくこと。
・毎回の授業を振り返り、疑問点などをまとめ、次の授業の課題として準備しておく。

■評価方法

・授業へ取り組む姿勢　― 40%
・期末テスト・提出物（授業のノート・小レポート）　― 60%

参考文献	授業において紹介する。	特記事項	【特記事項】 ・授業は講義・演習・ディスカッション。 【課題等へのフィードバック方法】 ・試験後模範解答を提示し、解説する。 ・レポートなどの課題にはコメントを書き加えて返却する。
卒業･免許状･資格との関連	保育士資格必修	幼	
		保	保育の本質・目的に関する科目
実務経験のある教員等による授業内容			